

奨学生申込書

別紙①

財団使用欄

受付日: 20

番 号:

2017 年 10 月 1 日現在奨学金を受給していますか。 → はい ・ いいえ

「はい」の場合は、期間を記載 → (20 年 月~20 年 月まで)

氏名	カタカナ			当財団奨学生経験
	パスポート記載の英文			有 ・ 無
	母国語での表記			性別 男 ・ 女
生年月日		19 年 月 日	日本在留年数 (延べ)	年 歳
E-mail Address		@		
電話番号		() -	国 籍	
現住所		〒		最寄り駅 線 駅
在籍(進学) 大学又は大学院	2017 年 10 月 ・ 2018 年 4 月 現在 (どちらかに○をつけてください)			
	☐ 大学 ☐ 大学院		☐ 学部 () 年	
	☐ 学部 ☐ 研究科		☐ 修士	
	☐ 学科 ☐ 専攻		☐ 博士	
指導教員名		入学年月・編入年月 (どちらかに○をつけてください) 年 月		
修学使用言語		日本語 ・ 英語 ・ その他 (語)		
専攻分野分類		人文科学 ・ 社会科学 ・ 理学 ・ 工学 ・ 農学 ・ 医歯薬保健学 ・ 教育学 ・ 芸術学 ・ その他		
留学生 担当部署 (申請窓口が記入)	担当部署名 (上記在籍大学以外からの申請は申請学校名を明記):		電話 () -	
	担当者名		FAX () -	
	住所 〒			
提出資料の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書 有 [添付あり] ・ 無 [添付なし]		(大学院生) 研究実績 有 [添付あり] ・ 無 [添付なし]	

申込日 2017 年 月 日

【受付番号票】 (学校名、氏名を記入のこと)

申請学校名	氏 名 (カタカナ)
	様

奨学生申込書を 番で受け付けました。 受付年月日

氏名(カタカナ):

学歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	経歴	奨学金 受給
	1	年 月から 年 月まで	高校				卒業・中退	有／無
	2	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	3	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	4	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	5	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有／無
「中退」もしくは「休学」の場合は、理由を記入								
職歴	期 間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容 (在籍状況)				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
資格・免許			受賞歴			特技		
語学力						過去における日本の在住履歴		
(日本語) 日本語以外で修学している学生は、日本語への取り組みを必ず記入すること			(英語)					
			(その他語学力)					
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に書くこと) ※必須						所属する教育支援プログラム名		
推薦状(別紙③)を依頼した方との「関係」と、その「理由」								

【記入の注意点】

- 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4 サイズ)にて記入し、あわせて提出すること
- 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること

履歴書-2

氏名(カタカナ): _____

・現在・過去に当財団の奨学生であった家族・親戚がいたら、家庭状況の表右の欄に○をつけること
・家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合は「家庭状況欄」に記入すること

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名	当財団奨学生経験
	配偶者					
	子供					
	父					
	母					
	兄弟姉妹					
経済状況	収入	仕送り	有 ・ 無			年額 円
		アルバイト、その他給与(内容:)				月額 円
	配偶者の収入	勤務先 () 仕事の内容 ()				月額 円
		受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間	受給金額	
		名称		年 月 ~ 年 月	月額 円	
		名称		年 月 ~ 年 月	月額 円	
	住居	賃貸住宅 ・ 寮 ・ その他 ()		一人住まい ・ ()人住まい	自己負担額 月額 円/人	
	過去4年間に受給した「奨学金」および「研究助成金」、「授業料免除」の実績 (名称・受給期間・受給総額)					
年	奨学金・研究助成金			授業料免除		
	名称	期間	総額	期間	免除額	
2017			円		円	
2016			円		円	
2015			円		円	
2014			円		円	
奨学金および研究助成金の実績を上記表で書き足りない場合は、こちらの欄に記入ください。						
併願状況 (奨学金に類するもの全て記入)	申請先				結果発表月日	
					月 日 発表	
					月 日 発表	

推薦状

記入者	学校名	所属
	職名	連絡先(TEL)
	氏名(署名) 印	記入日 年 月 日

下記の学生を、公益財団法人佐藤陽国際奨学財団の奨学生に推薦いたします。

学生氏名 _____

1. 学業面

2. 人物面(長所、短所を含む。)

3. この学生との関わりについて教えてください。なお、リサーチアシスタント等として採用している場合、採用した具体的理由も教えてください。また、契約終了時期も教えてください。

([例] 学部で社会学を指導している学生、経済的に困窮していたためリサーチアシスタントとして採用した学生)

※厳封にて提出願います。
※日本語以外での記入の場合は、和訳を添付してください。

評価書 (博士課程の学生のみ)

学生氏名 _____

これまで指導してこられた学生の中での相対評価として下記の数字を用いて空欄にご記入ください。

5:大変優れている(上位 5%)	4:優れている(上位 10%)	3:平均以上(上位 25%)
2:平均的(中間)	1:平均以下(50%以下)	

- ①研究者としての適性
探求心が強く、自発的に研究を進めると同時にリーダーシップを発揮する。
- ②研究者としての能力
高度な実験技術や正確なデータ収集力及び分析力、論理的な文章力、プレゼンテーション力がある。
- ③発想の独創性
当該分野の研究を大きく前進させる着眼点や発想がある。

④研究者として特記すべき秀でた能力があればご記入ください。

⑤当該学生の博士号取得の見込み時期及びその可能性をご記入ください。

⑥博士号取得の要件をご記入ください。

※推薦状記入者と同じ方がご記入ください。(厳封にて提出願います。(ホチキス留め不要))
※但し、他大学に進学するため、推薦状記入者が⑥を記入できない場合は空欄で構いません。

学業成績表の提出について

- ・ 下表に該当する学業成績表を提出すること
- ・ 日本で発行される学業成績表は直近のオリジナルを提出すること
- ・ 母国の学業成績表など取り寄せなければならない場合の成績表はコピー提出可
ただし、母国の学業成績表については必ず「和訳」もしくは「英訳」を添付すること

2017 年 10 月 在籍(進学)課程 (2018 年 4 月進学する大学院生 のみ、2018 年 4 月時の学年とし て読み替えて下さい。)	下記に該当する 学業成績表を全て提出	説明
学部生 ※	①学業成績表	高校在籍期間中全ての学業成績表と在籍大学(※)の直近まで全ての学業成績表 ※日本の大学の学業成績表が提出できない場合は、応募資格なし
	②日本留学試験に関する証明書(コピー可)	日本留学試験に関する証明書がない場合は、奨学生申込書(別紙①)の「提出資料の有無」の「日本留学試験に関する証明書」欄内の無に○をつけること
大学院生 ※ (修士・博士)	①学業成績表	学部1年生から直近まで全ての学業成績表

※高等専門学校もしくは専門学校からの編入生(編入経験のある大学院生含む)は、応募課程に係わらず高等専門学校もしくは専門学校の学業成績表も提出すること

提出する学業成績表が、『別紙②履歴書 1: 学歴欄』に記載されたどの期間に該当するかがわかるように、記入例を参考に学業成績表にNo.を記入して提出すること

【記入例】『別紙②履歴書 1: 学歴欄』に
該当するNo.を左上に記載 →

No.4

学業成績表

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

研究実績及び研究計画書の書き方について

「研究実績」及び「研究計画書」は、それぞれに「名前」を記入して提出ください。

■研究実績

- ・ 下記①～④に該当するものを書いてください。(何件書いても可)

①公刊論文 (レフリー付)※	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
②公刊論文 (レフリーなし)	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
③学術発表(国内)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
④学術発表(海外)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月

(研究実績を作成するにあたり)

- ・ 日本語、ワープロ可、A4 サイズ
- ・ 著者及び発表者が複数の場合は全員の名前を掲載順番通りに書き、ご自分の名前には下線を引いてください。
- ・ 公刊論文や学術発表のサマリーは添付不要です。
- ・ 博士号の取得の要件に該当する研究実績には「論文題名」の横に「博士号該当要件」と明記ください。
- ・ ※公刊論文(レフリー付)で査読中の場合は、その旨を明記ください。
- ・ 修士に進学する学生で研究実績が無い場合は、学部課程の卒論のサマリーも可とします。(A4 サイズ 1 枚にまとめる。(必須))それでも実績が無い場合は、奨学生申込書(別紙①)の「提出資料の有無」の「研究実績」欄内の無に○をつけてください。

■研究計画書

- ・ 日本語、ワープロ可、図表使用可
- ・ A4 サイズ 1 枚にまとめてください。指定枚数以上は認めません。
- ・ 研究要旨を含んで書いてください。
- ・ 専攻、研究テーマについて、一般の人にも分かるようにやさしく書いてください。